

日本史(8) 古墳時代④「古墳の終末／ヤマト政権と政治制度」

○今回のポイント

東アジアの変化に対応し、ヤマト政権は豪族たちの首長連合体制から、大王を中心とする中央集権国家に変容していった！！

古墳の終末

(1)前方後円墳の造営の終焉

6世紀末～7世紀初め、地方首長による前方後円墳の造営が終わる



なぜ前方後円墳終焉の時期がそろっているのか？



ヤマト政権による強力な規制の結果



規制の目的は！？

前方後円墳は
古い首長連合体制の
象徴

☆ 中央集権的な国家形成を目指す必要性 ☆

- ① 589年に[1. 隋]が南北統一を果たし朝鮮半島進出を企図
- ② 強い国家を形成するため古い[2. 首長連合体制]から決別する！

(2)「古墳時代終末期」における「終末期古墳」

①古墳時代終末期：前方後円墳造営停止後の100年間ほどの期間

②終末期古墳

(a)首長層の古墳

- ・首長層は大型の[3. 方墳]や[4. 円墳]を営むようになる
- ⇒地方では[5. 国造](ヤマト政権の地方官)に任じられた一部の有力な首長のみが古墳を営む。
- ・千葉県 [6. 龍角寺岩屋古墳]…方墳。一辺 80m
- ・栃木県 [7. 壬生車塚古墳] …円墳。直径 80m。

(b)7世紀中頃

☆近畿の大王の墓が[8. 八角墳]になる。

9.
大王にのみ固有の八角墳を営んで、一般の豪族層を超越した存在であることを墳墓のうえでも示そうとした。

(c)7世紀の終わり

☆有力首長層ですら古墳を営まなくなる。

☆大王とその一族およびその支配を助けたごく一部の有力支配者層だけが伝統的な墳丘を持つ古墳を営む。

☆終末期における古墳形態変化の歴史的意義☆

- ①前方後円墳の造営停止
- ②大王墓の八角墳化
- ③有力首長層の古墳造営の停止

☆[10. 統一国家の形成から律令国家への動きに対応する]☆
中国では隋唐帝国が建設されたため、周辺諸国はそれに対抗するため中央集権的な国家を目指す必要があった。

ヤマト政権と政治制度

(1)ヤマト政権の支配領域の拡大

①支配領域の拡大

- ・時期 ; 5世紀後半から6世紀にかけて
- ・中心人物 ; 大王。
- ・領域 ; [11. 関東地方]から[12. 九州中部]におよぶ地方豪族を含みこんだ支配体制を形成

②[13. 『宋書』倭国伝]から分かるヤマト政権の支配

- ・倭の五王が中国の南朝の宋に朝貢して倭王と認められる
- ・倭の王権が勢力を拡大して東・西・海北の地方豪族たちを服属させた([14. 478]年の倭王武の上表文)

③古墳から分かるヤマト政権の支配

- ・大規模な前方後円墳が近畿を中心として展開 ⇒ 近畿がヤマト政権の中心地
 - ・埼玉県[15. 稻荷山古墳出土鉄剣銘]
 - ・熊本県[16. 江田船山古墳出土鉄刀銘]
- 「17. 獲加多支鹵」の大王名が記されている

※獲加多支鹵=倭王[18. 武]=[19. 雄略天皇]

⇒ ヤマト政権の支配が関東から九州にかけておよんでいたことが分かる！！

(2)[20. 氏姓制度] ~豪族を大王家中心の支配体制下に組み入れるための政治的身分秩序~

①[21. 氏]…血縁を中心に構成された同族集団。

- ・地名を氏の名とする ⇒ 葛城氏・平群氏・蘇我氏 (姓は「臣」が与えられる)
- ・職掌を氏の名とする ⇒ 大伴氏・物部氏 (姓は「連」が与えられる)

②[22. 姓]…大王により政治的地位と職掌に応じて与えられた称号

- ・[23. 臣](おみ)…大王家から分かれた皇別氏族の姓。地名を氏の名として連合してヤマト政権に参加。
- ・[24. 連](むらじ)…大王家とは祖先の違う神別氏族の姓。多くは職掌を氏の名とする。
- ・[25. 君](きみ)…地方有力豪族に与えられた姓。例) 上毛野君、筑紫君。
- ・[26. 直](あたえ)…地方の豪族に与えられた姓。

(3)政治の仕組み

①中央

- ・政治…臣姓、連姓の中から[27. 大臣]、[28. 大連]が任じられて政治をつかさどる。
- ・行政…[29. 伴造](職業集団の長) - [30. 伴](職務に奉仕) - [31. 部](伴を支える集団)
↳ 軍事・財政・祭祀・外交や文書行政などの職掌を分担。

②渡来人たち → 伴造や伴に編成され、[32. 品部]の集団がそれを支える。

(4)豪族

①奈良盆地南部…大王の住む[33. 大王宮]を中心とし、有力王族の[34. 皇子宫]や中央有力豪族の邸宅が集中。それぞれに中央中小豪族、地方豪族、伴などが奉仕。

②有力豪族…私有地の[35. 田荘]・私有民の[36. 部曲]。奴隷の[37. ヤツコ](奴婢)。

③地方豪族の反乱

- ・[38. 磐井の乱]…527年、新羅と結んだ筑紫国造磐井が大規模な反乱を起こす。

- ・ヤマト政権の対応

- ↳ 地方豪族の抵抗を従属させる→直轄領[39. 屯倉]、直轄民[40. 名代・子代]の部を設置
- ↳ 地方豪族を[41. 国造](ヤマト政権の地方官)に任命し、地方支配権を保証。

⇒見返りに[42. 舎人・采女]の出仕。地方特産物貢進。屯倉や名代・子代の部の管理。軍事行動。